

芦北町

演能会

喜多流能「田村」

狩野祐一

みのる会狂言

「寝音曲」

田嶋晴雄

令和8年8月22日(土)

14:00 開会 (13:15 開場)

芦北町民総合センター
(しろやまスカイドーム)

主催/芦北町

入場料/前売券……2,000円

当日券……2,500円(中学生以下無料)

《開会アトラクション》 熊本県神社庁雅楽部会演奏

【チケット販売所】

芦北町役場(本庁舎1階商工観光課・大野出張所・吉尾出張所)

芦北町教育委員会スポーツ・文化振興課(田浦支所内)

芦北町コミュニティセンター・星野富弘美術館

しろやまスカイドーム・芦北町宮温泉プール

津奈木町教育委員会

【お問い合わせ先】

芦北町教育委員会 スポーツ・文化振興課文化振興係

(TEL 0966-87-1171 内線145)

《番組》

解説 大島 輝久

14:25

―火入れ式―

【狂言】

寝音曲

シテ(太郎冠者)

田 寫

晴雄

アド(主)

山内

理至

15:00頃

【能】

後シテ(坂上田村麿の霊)
前シテ(童子)

狩野 祐一

田 村

ワキ(旅僧) 岡 充

(大鼓)

白坂 信行

(小鼓)

古田寛二郎

(笛)

浦 政徳

15:30頃

アイ(清水寺門前の者)

吉良

博靖

(後見)

佐々木多門
大島 衣恵

(地謡)

小川 芳久 塩津 圭介
衛藤 光明 粟谷 充雄
塩山 良一 狩野 了一
山下 保昌 大島 輝久

十六時五十分 終了予定

《狂言 寝音曲(ねおんぎょく) あらすじ》

主人が酒宴の帰りに、たまたま太郎冠者の家の前を通りかかったところ、上手な謡を耳にし、自分の前で謡を謡うように命じます。太郎冠者は、今後たびたび謡わされては困ると考え、まず酒を飲まなければ謡えないと嘘をつきます。太郎冠者の謡を聞きたい主人は、何かともったいつける太郎冠者に酒をふるまい、自ら膝枕をも許して謡わせませす。謡の調子にのった太郎冠者は主人に身体を起こされてもなお謡いつづけ、ついには立ち上がって舞い始める始末。主人と太郎冠者の駆け引きが見どころです。

《能 田村(たむら) あらすじ》

旅の僧が京都の清水寺に着き、爛漫と咲いている桜の花を眺めていると、桜の木の下を清めている童子がいるので、この清水寺の縁起や名所を尋ねます。するとこの寺は坂上田村麿を檀那と頼んで建立されたと話し、旅僧と一緒に月に栄える桜の下で夜の風情を楽しみます。僧が童子に名を尋ねると童子は田村堂に消えてしまいます。

(中入)

僧が夜もすがら経を讀んでいると、夜半に武将姿の坂上田村麿の霊が現れ、勅命で鈴鹿山の賊の討伐に出向いたとき、清水寺に祈願して出陣し千手観音の助勢を受けて賊を滅ぼすことが出来たという話を物語ります。